

須坂支援学校創立10周年記念事業

実行委員会だより

令和2年11月30日

発行 須坂市立須坂支援学校
10周年記念事業実行委員会 NO.5

10周年記念式典が挙行されました



新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から当初の計画を大幅に修正し、規模を縮小したうえではありましたが、支援学校の10歳のお誕生日をみんなで祝いすることができました。

子どもたちは、学校の10歳のお誕生日を祝うとともに、「学校をありがとう」という感謝の気持ちや「地域みなさん、これからもよろしくお願いします」という思いをもつことができました。



はじめの言葉。記念式典のスタートです。



須坂市長 三木 正夫様からお祝いの言葉をいただきました。



支援学校が創立されてからの10年間の歩みを映像で振り返りました。



どんちゃん（学校）、かめさん（須坂市）、くぬぎさん（保護者や地域の皆様）の登場に会場は大盛り上がりでした。



どんちゃん、かめさん、くぬぎさんは、みんなに校章の意味や須坂支援学校の歴史、お家の方や地域の方々の思いを分かりやすく教えてくれました。



趣向をこらした演出やお話に子どもたちは盛り上がり、楽しく誕生日をお祝いしました。



どんちゃん、かめさん、くぬぎさんから、代表の児童・生徒に記念品（記念誌、クリアファイル、記念DVD）が贈呈されました。



校歌を作ってくださった春畑セロリ先生が東京からお祝いのメッセージをよせてくれました。



春畑セロリ先生とクラリネット奏者 高井 洋子さんが奏でるピアノとクラリネットの演奏による絵本『ネコとクラリネットふき』の読み聞かせを鑑賞しました。本校職員がネコとクラリネットふきを演じました。



セロリ先生と高井さんのピアノとクラリネットによる校歌演奏を聞きました。



旧職員の皆様からお祝いのメッセージやお花をいただきました。

昨年9月に10周年記念事業準備委員会を立ち上げ、記念事業に向けて準備がスタートしました。今年度になり、新たなメンバーを加え、準備委員会から実行委員会へと業務を引き継ぎ、「須坂市に支援学校ができたことに感謝し、みんなでお祝いする」という共通の願いのもと、記念事業の準備を進めてきました。

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため計画を大幅に変更し、最大限配慮しながら、多くの皆様方のご協力のおかげで記念式典を開催することができました。心より感謝申し上げます。

記念事業を一つの節目としてさらに次の10年後を見据えた新たな時代の新たな学校づくりがスタートいたします。今後とも須坂支援学校に多大なるご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



ご来賓の皆様と実行委員会メンバー